

Tetronics プラズマ溶融技術の応用

Tetronics International社は、最大限の資源回収を目指すクリーンプラズマ技術と、有害廃棄物の高レベルの処理技術において50年以上の実績を持ちます。同社の多角的かつ有能な研究・設計チームは、初期のモデリング、実現可能性評価や処理素材のパイロット試験から設計、現場での据付・調整、量産工場の継続的支援を網羅しており、幅広く各国で90以上の廃棄物処理へのソリューションを提供して参りました。

使用済み触媒からの白金族金属（PGMs）回収、電子機器廃棄物からの貴金属（PMs）回収、スチール鋼工場からの卑金属回収、有害廃棄物処理（原子力、大気汚染管理残留物（APCr）、アスベスト、使用済み電解槽ライナー、石油化学、有機物）など多岐に亘ります。

今後も開発技術のアップグレードや最適化、専門家としてのアドバイスや補用品の提供、保守点検などを行っていきます。廃棄物処理や二酸化炭素排出量における課題に対応する一方で、その廃棄物から価値を回収する各企業・機関を支援するために、持続可能で古びることのないソリューションを提供します。



プラズマとは？

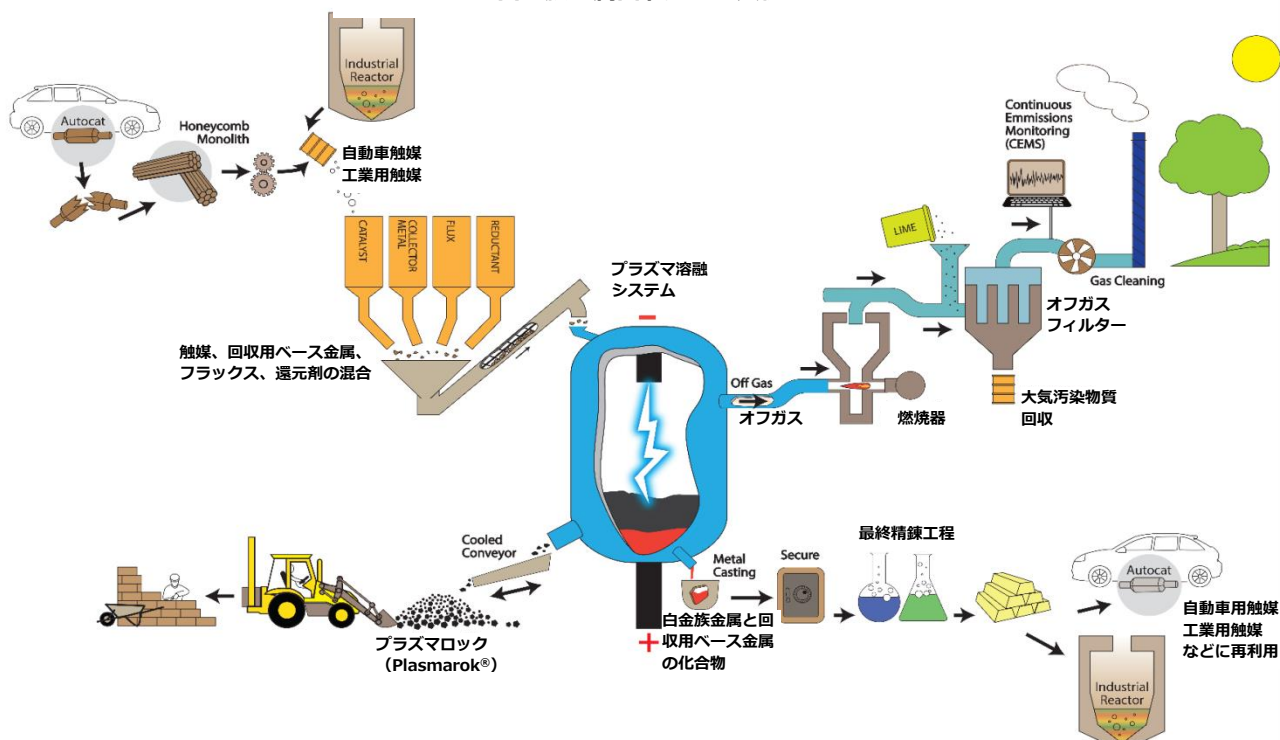
- ◆ プラズマは物質の固体・液体・気体に続く物質の第4の状態であり、気体を構成する分子が電離し陽イオンと電子に別れて運動している状態。
- ◆ 熱プラズマは超高温となり、紫外線を放射。気体（窒素など）を電流で5000K以上に加熱すると発生。
- ◆ プラズマは全ての有機物を分子レベルで分離させ、無機物は溶融させてガラス固化（Plasmarok®）して無害化。



なぜプラズマを使用するのか？

- ◆ 各種処理対象物に柔軟に適用可能であり、対象物構成比の変動にも大きく影響受けない。
- ◆ ロバスト性、信頼性が高く、維持管理も容易。
- ◆ 設備の接地面積は比較的小さい。小規模事業のスケールでは設備投資は最小レベル。
- ◆ 環境負荷が低い（廃棄物がほとんどない）。

白金族金属回収プロセス例



極東貿易株式会社

産業システム部

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階

TEL : 03-3244-3628

Email : ahanaki@kbk.co.jp

